

福岡商工会議所が150周年を迎える「10年後」をキーワードに学生が成長企業の若手社員取材し、将来の展望を探ります。



学生スタッフ NPO法人学生ネットワークWAN



取材 株式会社リトル・ママ
古賀夏海さん

■今月の取材先 株式会社リトル・ママ とは？
紙・WEB・リアル3つのメディアを通して、「全国のママと子どもの明日を応援」していくことを理念に掲げ、育児支援を行う福岡の企業。全国で35万部を発行する紙メディア「リトル・ママ」事業のほか、主要都市ではファミリーイベント「リトル・ママフェスタ」を開催している。

「1から10まで携わり、 ママと子どもの未来を応援します。」

現在のお仕事について教えてください。

私は企画・営業を担当しています。企画の面では、親子向けにPRしたいという企業にヒアリングに行き、その内容をもとに企画を考え、お客様にご提案しています。営業の面では、毎月発行している情報誌「リトル・ママ」に載せる広告の営業や、年に20回ほど全国で開催している親子向けイベント「リトル・ママフェスタ」のブース出展の営業を行っています。

次回リトル・ママフェスタは、福岡では8月に開催されるそうですね。

リトル・ママフェスタは、ママたちが欲しい情報の提供や、おむつや離乳食、ミルクなどのサンプリングなどを通じて、ママと企業をつなぐ役割を担っています。また家族全員で楽しんでもらえるよう、フェスタの中で、ハイハイレースや撮影会、ステージイベントなどを企画し、開催しています。私はこのレースや撮影会をメインで担当しています。

仕事をしている中でモチベーションが上がる時はどのような時ですか？

リトル・ママフェスタなどのイベントの時です。様々なイベントで、実際にママや子どもたちが笑っている姿を見たり、ママたちに「イベントに参加してよかった」と言われたりすると、とても嬉しいです。

もともと子どもと関わるような仕事に興味があったのですか？

そうですね。もともと子どもが好きで、大学時代は教育学部で児童幼児教育を専攻していました。その学部で保育士や幼稚園の先生の免許が取れることと、母が保育士だったということがきっかけで、この仕事に興味を持ちました。

リトル・ママさんの魅力はどのようなところですか？

企画から準備、運営までというように、一つの案件につい

て最初から最後まで関わることができる」ところです。1年目から全てを任せられ、自ら考えて動いており、毎日がとても充実していて面白いです。わからないことがあったときは、先輩に聞いたり、先輩の案件に同行してその場で学んだりしています。同行した際に、いいと思ったことはその場でメモをして、後で実践するようにしています。社内では、いつも付きっきりで私の面倒を見てくれるわけではないので、それが苦しい時期もありましたが、入社当初から、一つの案件を始めから終わりまで全て責任を持ってこなしていかなければならなかったもので、仕事における成長はとても早かったと感じています。

また、リトル・ママでは出勤時間自由制度やフリーアドレスなど様々な制度が導入されています。福岡で働く私が、東京や大阪のオフィスに出社することもできます。**自分に合った働き方ができる点も非常に魅力的**だと思います。

そんな憧れの仕事をする中で、普段心がけていることはありますか？

今年で入社2年目となり、新人が入ってきたので、一番年齢の近い私が積極的に話しかけたり気を配ったりしながら仕事をしています。そしてもう一つ心がけているのは、「**違う**」と**思ったことは「違う」と言う**ということです。会議の場はもちろん、普段社長や先輩・後輩と意見交換をする際にも、「違う」と感じたらその場で言うようにしています。

会社の方全員と密にコミュニケーションを取っているのですね。今まで仕事で失敗した経験はありますか？

たくさんありますね。例えば、ヒアリングが足りていなかったために、クライアントの求めているゴールと私たちが企画書として出したものが合致しなかったことがあります。その経験を踏まえて、クライアントの方とお話する際には、説明ばかりをするのではなく、雑談を交えながらお話を聞くようにしています。その中で**クライアントの何気ない言葉から「相手が求めているもの」を引き出すことができればいいな**、と。そこから問題の解決策や、私たちリトル・ママが提供できる商品が見えてくると思います。失敗したときは落ち込みますが、先輩に相談に乗ってもらい、乗り越えるようにしています。



これまでの仕事を通じて感じている、今の子育ての課題はありますか？

少子化が進む今、それを防ぐためには、**ママたちに「ママになることは楽しい」と思ってもらわないといけない**と思っています。まだまだ不安でいっぱいママもたくさんいると感じていますし、福岡は特に転勤で来たママが多いので、孤独でママ友がいない人もたくさんいます。だからリトル・ママは、子育てを楽しめるコンテンツを提供したり、もっと手軽にママ友を作ることができる「ママ友コミュニティ」を提供したりすることができればいいと思います。

最後に、古賀さんの10年後の目標を教えてください。

リトル・ママには様々な部署があり、リトル・ママフェスタなどのイベント専門の部署もあります。イベントにとても興味があるので、いつかは**イベントのコンテンツを考え、そのアイデアをもとにイベントの企画をしたい**です。また私は、昇進して上に立ちたいという願望はそれほど持っていないのですが、**これから入ってくる後輩からは信頼される人でありたい**と思っています。

リトル・ママとしては、今のママユーザーに「リトル・ママ、とてもいいんだよ」という口コミを広げてほしいですし、日本中のママに弊社を知っていただき、リトル・ママっていいなと思ってもらいたいです。そのために私はまず、イベントでママに会った時、笑顔で接することから徹底したいと思っています。これからも、ママが楽しめるようなコンテンツをたくさん作れるよう、**小さいことから一つ一つコツコツと頑張っていきたいと思います。**

一つ一つのお仕事に真正面から取り組み、ママと子どもたちが楽しめるコンテンツを作り上げる姿勢が、とても印象的でした。また、仕事で自分の好きなことに取り組んでいる姿は非常に輝いていると感じました。

古賀さん、貴重なお話をありがとうございました！



■NPO法人学生ネットワークWAN とは？
設立16年目を迎える学生主体のNPO。「学生だから～できない」「地方だから～できない」を変えるべく全国19地域の情報発信支援や、地域の関係人口をつくるコンテンツ企画運営をしている。私たちの運営するサイト「ガクログ」もぜひCHECK!!
してください！
<http://www.gakulog.net/>

